

# 診療参加型臨床実習充実に向けて

日時

令和6年

10月3日(木) 18:00 ~ 19:00

※Zoomを用いたハイブリッド形式で実施  
(対面実施会場：臨床講義室2)

対象

臨床実習に関わるすべての指導教員

講師

医学・看護学教育センター

伊藤 俊之 教授

北原 照代 特任准教授

井上 一成 特任助教

## 概要

- \* 近年の診療参加型臨床実習の動向 (医学教育在り方検討会/JACME2 巡目終了を受けて 等)
  - \* 本学学生の現状 - Post-CC OSCE の結果から
  - \* 診療参加型臨床実習の学修目標と評価方法
- 令和3年に医師法が改正、令和4年度の医学教育モデル・コア。カリキュラムが改訂され、診療参加型臨床実習のあり方は大きな転換期を迎えています。また、本年6月には文部科学省に設置された「今後の医学教育の在り方に関する検討会」から第二次中間取りまとめが発出され、診療参加型臨床実習の実質化についても提言を行っています。
- 以上の背景を受け、本学ではどのように実習の質を向上・維持していくべきか、すべての指導教員と認識を共有し考えたいと思っています。

